

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	五稜星の夢開催補助金	開始 年 度	平成12年度
団 体 名	五稜星の夢実行委員会		
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市補助金等交付規則		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	特別史跡五稜郭跡の堀（周囲1.8Km）を約2千個の電球で電飾することで、五稜郭を地上に降りた巨大な星として浮かび上がらせるイベント。
目 的	(目 的) 冬季の観光振興のため。
・ 効 果	(効 果) 本市を代表する観光スポットである特別史跡五稜郭跡で実施するため、函館ならではのイルミネーションであり、冬季の観光客誘致に貢献している。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		協賛金	広告収入	雑収入	繰越金	計
		市	その他					
収 入	26	1,000		2,912	1,910	85	6	5,913
	27	1,000		2,752	1,970	49		5,771
	28	1,000		4,147	2,260			7,407
	29	1,000	1,120	4,228	1,920	11		8,279
	30	1,000		3,893	2,130	1	20	7,044
支 出	年 度	工事費	電気料	宣伝費	事務費			計
	26	4,185	319	292	1,118			5,914
	27	4,884	278	292	757			6,211
	28	5,946	273	112	1,063			7,394
	29	6,832	277		1,081			8,190
	30	5,447	286		1,311			7,044

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	五稜星の夢開催補助金
----------------	------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	平成元年から（助成は平成12年度から）開催されており、市民参加による五稜郭エリアの活性化につながるイベントとして、市民の知名度も高く、内容の充実に対する市民の期待度も高いイベントとなっている。
2	必要性（補助しなければならない事業であるか）	☒	☐	特別史跡である五稜郭跡の堀を電飾するという函館ならではの特色あるイベントを実施することで、本市の冬季の観光振興に資する必要不可欠なイベントである。
3	自主性（自主自立に向け努力しているか）	☒	☐	イベント内容の見直し等を行っている。
4	有効性（他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か）	☒	☐	冬のイベントの充実による冬季の観光振興の必要性が叫ばれている中で、市民団体による観光客の誘致や地域活性化に係る機運の高まりを削がないためにも、補助金の支出が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☒	当該補助金は、当該事業の大きな効果を鑑み、事業の継続を支援するために、政策的な意図をもって支出していることから、積算基準は定めていない。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☒	自主財源の多くを占める協賛金や広告収入は、その性質上、年により上下があり、安定的な収入とはいえないが、そういった中でも同規模の確保がなされている。
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート(No.3)

補助金名
(交付金名)

五稜星の夢開催補助金

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

具体的な数値などを示すことは難しいが, 近年増加傾向にある冬季の観光入込について一定の効果があるものと考えている。

(達成状況)

過去3年度における冬季の観光入込客数

- ・平成30年度: 12月 392.9千人, 1月 265.0千人, 2月 258.0千人
- ・平成29年度: 12月 322.0千人, 1月 226.6千人, 2月 231.5千人
- ・平成28年度: 12月 318.7千人, 1月 233.1千人, 2月 248.8千人

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評価)

十分効果をあげている ☐一定の効果をあげている ☒効果が疑問である ☐その他 ☐

(理由)

市民ボランティアの努力により, 本市の冬のイベントとして旅行代理店のパンフレット等に掲載されるまでに成長しており, 今後も更に知名度を高めることで多くの誘客が期待できる。

○今後の方向性



現行のまま補助を継続



見直したうえで補助を継続



廃止



その他

(見直しの内容)

今後, 補助事業の対象経費を精査するなどし, 必要に応じて補助金額を検討する。

(見直しの時期)

令和3年度

(廃止の理由)

(廃止の時期)

(その他の内容)

○終期の設定

終期設定

令和3年度



終期到来により廃止



終期到来時に再検討

次回チェック年度(予定)

令和3年度